

第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 平成30年9月27日（金）午後1時30分～5時3分

場 所 多摩市立図書館 本館 講座室

出席団体名（9団体）

おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークル ピエロ、ひなたぼっこ、ひなの会、もりの文庫

開会

1 事務局挨拶

子ども読書支援係長

- ・会長が決定するまでの間、司会を務める。
- ・市民ボランティア連絡会の所掌事務についての説明

2 委員紹介

- ・委嘱状の机上交付

（事務局）代表者が変わる場合は事前に書面にて申し出を。

- ・団体紹介

おはなしチャチャチャ代表者

今回はじめて参加。読み聞かせ講座から発生した。今年で7年目。豊ヶ丘図書館の児童コーナーで読み聞かせをしている。この間、子どもを取り巻く状況や図書館との関係も変化してきていると感じているところ、この連絡会の話があったので参加させてもらった。

コアラ文庫代表者

鶴牧の団地で地元の子どもたちに本を貸出したのが始まり。だんだん子どもたちの参加が少なくなって、本館が落合に来たので、現在は本館と多摩市子育て総合センター「たまっこ」で一月に1回ずつおはなし会をしている。第一次、第二次の市民連絡会にも入っていた。

多摩おはなしの会 代表者代理

2000年に子どもたちに昔話などを届けるために、おはなしの勉強をみんなですようということで発足した団体である。月1回定例会を持って勉強をしている。会員は別の文庫などに所属しておはなしを語る活動をしている。当会は、おはなしの勉強が主目的であるが、関戸図書館や和田中学校（毎学期1回、全クラス、朝読書の時間）でおはなし会をしている。子ども読書活動推進については第

一次から参加している。第三次計画がいい活動になっていくとよいと思っている。
多摩市文庫連絡協議会 代表者代理

多摩市のいろいろな地域でおはなし会などをやっている団体（文庫など）が月に1回集まって、子どもの本に関する勉強会や情報交換、そして年に1回、2月頃「文庫展」をやっている。9団体と個人会員がいる。定例会の翌週には「文庫連だより」の発行や文庫展の準備などを行っている。

つくしんぼ文庫 代表者

30年前に聖ヶ丘団地が出来たときに文庫ができた。聖ヶ丘図書館が出来てからは図書館で月3回、図書館主催のおはなし会を担当している。その他に地元の聖ヶ丘小学校や児童館の「幼児の時間」と学童クラブで行っている。

布の絵本サークル ピエロ 代表者

文庫連が2002年に「ゆめ基金」を受けて布の絵本の講座を開いたことをきっかけに始まった会である。2006年から図書館に置いてもらう布の絵本を作っていて、現在はメンバー10人である。タイトルは21ある。

ひなの会 代表者

ボランティアに属しているので図書館から生まれた会ではない。11年目になる。1ヶ月に4回、練習会をしている。木曜日の午前中は福祉館。0歳～100歳までを対象にやっている。現在10名ぐらい。活動場所は10箇所ぐらいあるが、その中に永山図書館がある。

もりの文庫 代表者

愛宕児童館でおはなし会を20年ぐらいやっている。以前は八王子の松が谷児童館でもやっていた。

ひなたぼっこ 代表者代理（途中出席により発言順序不同）

ひなたぼっこは今年3月ぐらいに結成した。メンバーは現在6名。0歳～4歳の子供をもつ母親である。唐木田児童館、多摩児童図書館などで赤ちゃんの会の中で読み聞かせなどを行っている。まだ試行錯誤であるが、これから活動を広げていきたいと考えおり、今回、この連絡会に参加した。今後は代表者か私が出席することになる。

（委員）

会長・副会長の選出の前に、この連絡会をどう運営しどういった働きをしてゆくのか、これから何をしようとしているのかの説明を。

（事務局）

次第「3 会長、副会長の選出」の前に、先に「5 推進体制について」に入る。

5 推進体制について

(事務局)

- ・計画書概要版、計画書および資料に基づき第三次計画の概要と推進体制の要点を説明
(委員)

第一次、第二次までは「市民連絡会」という名称であったが、今回は「市民ボランティア連絡会」と称して「ボランティア」という言葉が入っている。その理由は何か？

(事務局)

第二次の時には、個人での参加が可能だったため、一つの団体から複数名の参加もあった。第三次では多摩市内で活動している子どもの読書に関するボランティア団体に、広く参加してもらい、多くの方にこの計画推進に関わっていただきたいという趣旨から、市民ボランティアの代表者の方にお集まりいただくという内容の要綱をつくり、1団体1名とした。今回9名の応募があったが、今後も随時募集をしていく。

(委員)

市民の意見を聞く会であれば、会長は子ども読書支援係長では良いのでは。

(委員)

代表者の変更に伴う委員変更もあり、毎年会長、副会長も変わる可能性もある。

また、小規模の団体にとっては第二次の時よりも応募しづらかったとの話も聞いた。もう少し幅広い意見が聞ける場であってほしい。

(委員)

年3～4回の会議の内容は何か？ 今までよりも回数が減っている。

(事務局)

第二次では、イベントやおはなし会のことに圧倒的に時間をかけた。第三次では、計画の進行管理についてはこれまで以上に時間をかけたい。またこの会に所属することで他団体との交流も出来る会としたい。多摩市内でおはなし会以外のいろいろな活動をしている団体にも声をかけていただきたい。

(委員)

募集要項を見たら任期6年、団体から1名という縛りがある。またボランティアとは自発的な行為であり、市民ボランティア連絡会という名称では個人参加という誤解を受けるのではないかと思う。市民ボランティア団体連絡会という名称であればよかった。今後考えていってもらいたい。

今回の募集はどのようなところに出したのか？ 一人が複数の団体に所属している場合もあり、参加により仕事が増えるのではと断念した団体もあるので、今回なぜ参加団体が少なかったのか検証し、またこの連絡会に参加すれば交流ができるということを今後PRしてほしい。代表者という縛りは市民団体の実状に照らすと合わない。

(事務局)

当初は代表者ということで進めたが、途中から代理でもよいとした。教育委員会から委嘱状を出す委員であるので、初回から代理の方という場合は委任状を提出してい

ただいた。単発での代理は事前に会議前に連絡をいただければよい。任期6年途中で変更となる場合は、事前に手続きをとっていただきたい。要綱に決められた職務であるのでご理解をお願いします。

会長、副会長については、この会は市民の連絡会なので中心になって行ってもらおうということで、委員から互選で選任をお願いします。

(委員)

今後の連絡会に子ども読書支援係長は同席するか？この会をどのような議題に沿って進めるか、何を求められているか、進行が難しい。議題は会長と事前に相談をするのか？

(事務局)

子ども読書支援係は事務局として参加する。これまでは議題等は事務局が考え、通知は会長名で出している。議題についてはこの会で決めていただければよいが、要綱に所掌事項があるのでそれに沿った内容になる。

3 会長、副会長の選出

要綱第13条により選出、また第14条（市民ボランティア連絡会の会議）の確認。
推薦により、会長、副会長を決定。（全会一致）司会を事務局から会長に引き継ぎ。

4 議事録について

(事務局)

要点録は議事録とは違い、議題とその結論、主な意見を記載する。

要点録は今回の会議で確認後、委員個人名を削除し、配布資料と共に行政資料室で公開する。今回、配布資料に委員名簿があるが、個人名は削除せずそのまま設置する。

図書館ホームページでは要点録と参加団体名は公開するが、配付資料は公開せず、また委員名も出さない。

6 情報提供

(1) 推進連絡会、各推進連絡会の状況

(事務局)

- ・各連絡会の会長、副会長が決定された。
- ・今年度、図書館内、関係課、各小・中学校で6年間のアクションプランを作成する。図書館で取りまとめ、3月の教育委員会に報告予定。

(2) 平成30年度子ども読書支援に関する多摩市立図書館の主な取り組み

事務局から資料5に基づき説明

(委員)

図書館別の中高生の利用率は出しているか。今後中学生、高校生にも読み聞かせを

したい。

(委員)

おはなし会団体と学校とのコーディネートについては、今後の課題である。

(事務局)

各図書館の利用率は出していない。コーディネートは、計画書P. 61の2「市立図書館、学校（学校図書館）及び子どもや保護者が利用する施設におけるボランティア団体への活動支援」に該当すると思う。

(委員)

三次計画で進めていければ良い。読み聞かせなど自分のホームページで公開しているが、PR等図書館が中心に動いたほうがよいと思う。

(委員)

本館の再整備基本計画の検討の中でも、ボランティアと図書館との関係でいろいろと議論があった。今後、ボランティアの役割や図書館がボランティアに期待することについて、お互いに意見を交換して検討していくのがよい。

(会長)

今後、このことについては第三次の施策にも上がっているので、具体的に話し合う時間を設けたらどうか。

(3) 第10回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について（中間報告）

事務局より資料に基づき説明

(委員)

オープニングにふさわしいか分からないが、ひなの会で「多摩のむかし絵図」（多摩川の流れの変遷とその周辺に住んでいる魚・鳥・虫を描いたもの）や「多摩語り」（鎌倉街道の一軒一軒の屋号を書いたもの）がある。そういうのを展示してもよいのであれば、是非使ってもらいたいと思う。パネルにしてある。

(委員)

ほんともフェスタについては、第三次で今後やり方を検討していくとなっており、主催も推進連絡会であった。今回、市民ボランティア連絡会では検討の余地はなく、今後どのように関われるのか？第三次計画で検討はこれからなのにいきなり第10回を実施するのはいかなものか。

(事務局)

イベントについては計画書P. 45のとおり、今後総合的に再検討する。イベント自体のあり方も含めてこれからの検討となるので、第10回ほんともフェスタについてはこれまでの内容を踏襲し、3月に、グリナード永山で展示をやる構成で準備をしている。オープニング・エンディングについては近年イベント性を持たせて実施したが、今回はオープニングだけを考えている。

主催と協力については、第二次の時は主催は全体の推進連絡会であった。実状とず

れていると考え、今回は主催を図書館、協力を市民ボランティア連絡会 他とした。

(委員)

第10回を3月にやるということは決めていなかったと思う。市民ボランティア連絡会に諮らずに協力団体と決めるのはおかしい。これまでの内容を踏襲して図書館がやるということを図書館が決めたということであればそれでよいが、今回とこれからの決め方、進め方が見えない。

(事務局)

イベントのあり方については、今後、様々なイベント全体を見て図書館で検討し、市民ボランティア連絡会に意見を聞きたい。第10回はこの検討がまだ始まっていないので、3月に例年どおり実施するということで間に合うように準備を進めている。来年、主催は図書館でないということであれば、またその時に検討することになる。

(委員)

今年度は、開催は無理だと思っていたが、可能になった。

(会長)

第11回についてはあり方について検討する、第10回については時間がないので、この中間報告にそって意見を言い、市民ボランティア連絡会として協力をすることによってよい。連絡会としては、グリナード永山の展示会場での手伝い。

(事務局)

展示は2月28日から始まるが、ほんとにもフェスタは概ね3月の一ヶ月間。

(委員)

本の楽しさを伝えるイベントであるから、中身については十分に話し合いたい。イベントをやるのが目的ではない。

(会長)

日ごろの活動を知ってもらう月間であった。それを全面に出したい。

(事務局)

各館でのおはなし会・スペシャルおはなし会をPRしていく。各団体でもご協力いただきたい。

(会長)

では第10回についてはこの内容ですすめるということによってよいか？

→了承

(会長)

オープニングイベントについては？

(委員)

図書館が主催であるから、中身はまず図書館が検討・提案すべきことである。

会長

図書館が各団体に協力依頼する。なお、この会での意見を聞いて、反映できること

はしてもらう。

(委員)

講演会の対象は？

(事務局)

小学校高学年から大学生。小説を書きたい大人の方もいるので大人も参加可。定員は50名。

7 次回の日程について

1 1月22日（木）午後1時30分～3時30分 本館講座室

その他事項

- ・市民ボランティア連絡会委員の追加募集について

(会長)

追加募集はするのか？

(事務局)

随時募集であるが、PRをしていく。

(会長)

今回通知を送ったところには別のアクションをしないと応募してくれない。

(委員)

交流会的な性格を持たせるのであれば、図書館おはなし会協力団体には参加してもらうようにするべき。

(委員)

聖ヶ丘には来たが関戸や豊ヶ丘の赤ちゃんおはなし会協力団体には通知は行っていなかった。そのため応募の検討ができなかったとのこと。だから聖ヶ丘も提出を控えた。そのためすべての団体に出してほしい。

(事務局)

豊ヶ丘はリストには入っておらず申し訳なかった。関戸については確認する。追加募集をする際には赤ちゃんおはなし会をされている方あてに通知を出す。

(委員)

各学校でおはなし会をしているグループにも司書を通して呼びかけできないか？

(事務局)

検討する。

(会長)

学校によって状況が違うため、第三次の推進をしていく中で検討するのがよい。

(委員)

各クラスでやっているグループまでは学校図書館司書は把握していない。

(会長)

学校図書館司書が把握している団体でないとなかなか声はかけられない。

(委員)

数年前に文庫連が声をかけてくれて多摩市内の読み聞かせのグループが参加した交流会がここであったが、あのメンバーは把握できていないのか？あれぐらいの規模の会になり、参加してよかったという会にしてもらえるとよい。そのような呼びかけをしてほしい。

(事務局)

以前数回実施したが、今回も同じ団体に通知を出した。

(委員)

この連絡会も、参加によりプラスになる情報を仕入れられるようになると良い。次回の募集時には、そういった誘い文句を入れて欲しい

- ・文庫連だよりの配布（多摩市文庫連絡協議会）
- ・多摩おはなしの会

1 1月7日（水）午前中 関戸図書館活動室で「おさらい会」を実施する。普段やっているおはなし（ストーリーテリング）を全員でやる。

- ・多摩市文庫連絡協議会

毎月、子どもの本に関する学習の報告を30分～40分やっている。

- ・(委員)

LLブックについて（学芸大の特別支援学校・司書による資料紹介。） 子どもだけでなく、大人にも必要である。

- ・(事務局)

公開講座の予告 平成31年1月20日（日）、27日（日）午後2時～
わらべうた講座 1日だけの参加も可。

閉会